

混合廃棄物のバイオドライイングによる乾燥試験を実施



概要

富山市内企業の株式会社石橋は、2024年にJICA民間連携事業でバリ州バドゥン県にコンポストプラントを導入し、都市間連携事業ではこの設備を活用した統合的な廃棄物処理実現に向けた取り組みを進めています。

この一環として、喫緊の課題である、住民から収集した混合廃棄物の処理を推進するため、同プラントを活用したバイオドライイング試験を実施しました。混合廃棄物に含まれている生ごみの発酵・分解熱を乾燥に利用することにより、約2週間で全体の含水率を20%程度まで削減できました。今後、この結果を活かし混合廃棄物の焼却処理やRDF燃料製造の運用計画を策定していきます。

写真



混合廃棄物の様子
(生ごみとプラスチックが混合)



コンポストプラントを活用した
混合廃棄物のバイオドライイング